

I 教育計画

1. 教育計画の基本方針

公益社団法人沖縄県看護協会は看護の質の向上、安心して働き続けられる環境作りの推進、併せて地域のニーズに応え、人々の健康な生活の実現に寄与することを使命としている。この目的の実現に向けて、定款第4条に「継続教育等看護の質の向上に関する事業」を挙げている。本会は、看護の質保証を目的として看護職のキャリアに応じた継続教育をさらに推進・向上させていくために、教育計画の企画にあたっては、本会の教育理念・教育目的・教育目標を基盤としながら、看護協会の重点事業や 2019 年度日本看護協会の教育計画基本方針、国や県の施策と連動した研修となるよう研修内容の充実を図りながら、看護職のキャリア開発を支援する。

教育理念

沖縄県看護協会は、社会の変化に伴い多様化する人々の健康上のニーズに対応できる看護専門職の継続教育を支援する。看護専門職として、人々の生命の尊厳と権利を守り、常に最善なケアが提供できるように、生涯にわたってキャリア開発に取り組み、社会の人々に貢献できる人材育成を目指す。

教育目的

看護専門職として社会の人々のニーズに応えるため、看護職一人ひとりの看護実践能力、組織的役割遂行能力、自己教育・研究能力の維持、向上を目指す。

教育目標

1. 看護専門職として、人々の多様な価値観を尊重し、倫理に基づいた安全・安心な質の高い看護が実践できる能力を養う。
2. 多職種協働における看護専門職としての役割を認識し、連携が機能できるような調整能力を養う。
3. 看護専門職に求められるリーダーシップとマネジメント能力を養う。
4. 看護専門職としての責務を自覚し、生涯にわたり看護職としての価値と専門性を発展させる能力を養う。

2. 教育計画の企画にあたって

2019 年度の継続教育の教育計画基本方針を踏まえるとともに、企画にあたっては、教育理念・目的・目標並びに教育体系に基づき、本会の「看護師キャリア開発ラダー」、平成 28 年度実施した「看護職の研修ニーズ調査」、平成 24 年度から 30 年度までの 7 年間の研修受講者アンケート結果分析等を踏まえ、全 94 コース（新規 16 コース）の研修を企画した。

2019年度の研修計画は、以下の点を特徴としている。

地域包括ケアシステムを支える看護職育成に向けて特にラダーと連動した研修企画とした。

- 1) 新たな社会ニーズに対応する質の高い看護を提供していくための研修として、今年度も地域包括ケア推進に向け、1. 新たな社会ニーズに対応する質の高い看護を提供していくための研修として、①長期ケアを担う訪問看護や介護施設での看護に関する研修 ②今後さらに増加する高齢者への看護、特に認知症ケア等に関する研修 ③診療報酬に関連した研修（認知症ケア加算2・精神科訪問看護基本療養費算定要件、医療安全対策加算） ④診療所等を含む中小規模施設等で勤務する看護職対象研修 ⑤加速する多死社会に向けて多様な場、多様な患者への緩和ケア、看取り等に関する研修 ⑥社会の多様化が加速している中、多様で異なる価値観を持つ人の尊厳を守る看護のための倫理を基盤とする患者支援の看護や国際看護、災害看護等の研修 ⑦准看護師のキャリアアップを支援する准看護師対象研修等を企画した。
2. 看護管理者が地域包括ケアを推進するための力量形成に向けた研修として、地域包括ケアを推進するための組織開発や人材育成、災害看護管理、プレゼンテーション力育成、リーダーシップ研修等を企画した。
3. キャリア開発を支援する教育担当者の研修として、毎年実施している沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会と特定分野における沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会を開催する。また、研修ニーズの高い新人看護職員研修実地指導者研修及び新人看護職員研修教育担当者研修については継続開催とし、その他ファシリテーションスキル研修等を新規に企画した。
4. 認定看護師、認定看護管理者の資格認定教育研修では、緩和ケア認定看護師教育課程の継続開講並びに感染管理認定看護師教育課程の再開講(2020年度予定)に向けた準備を行う。また、認定看護管理者教育課程については、3年毎に開催していたセカンドレベル教育課程を昨年度に引き続き開講するとともに、ファーストレベル教育課程についても開講する
5. 看護実践能力向上を目指した研修では特に医療安全、感染管理、がん看護、看護職としての倫理観、看護観を深めるための研修等については内容精選し継続開催とした。また、助産師・保健師のキャリア支援として、①周産期における災害対策について ②大規模災害に保健師活動に関する研修を企画した。
7. 離島・僻地へのインターネット配信研修は、新たに内容を精選し、「看護記録に関する指針（日本看護協会）の理解と活用」、フィジカルアセスメント等、7コースを企画した。

図1. 沖縄県看護協会継続教育の体系図

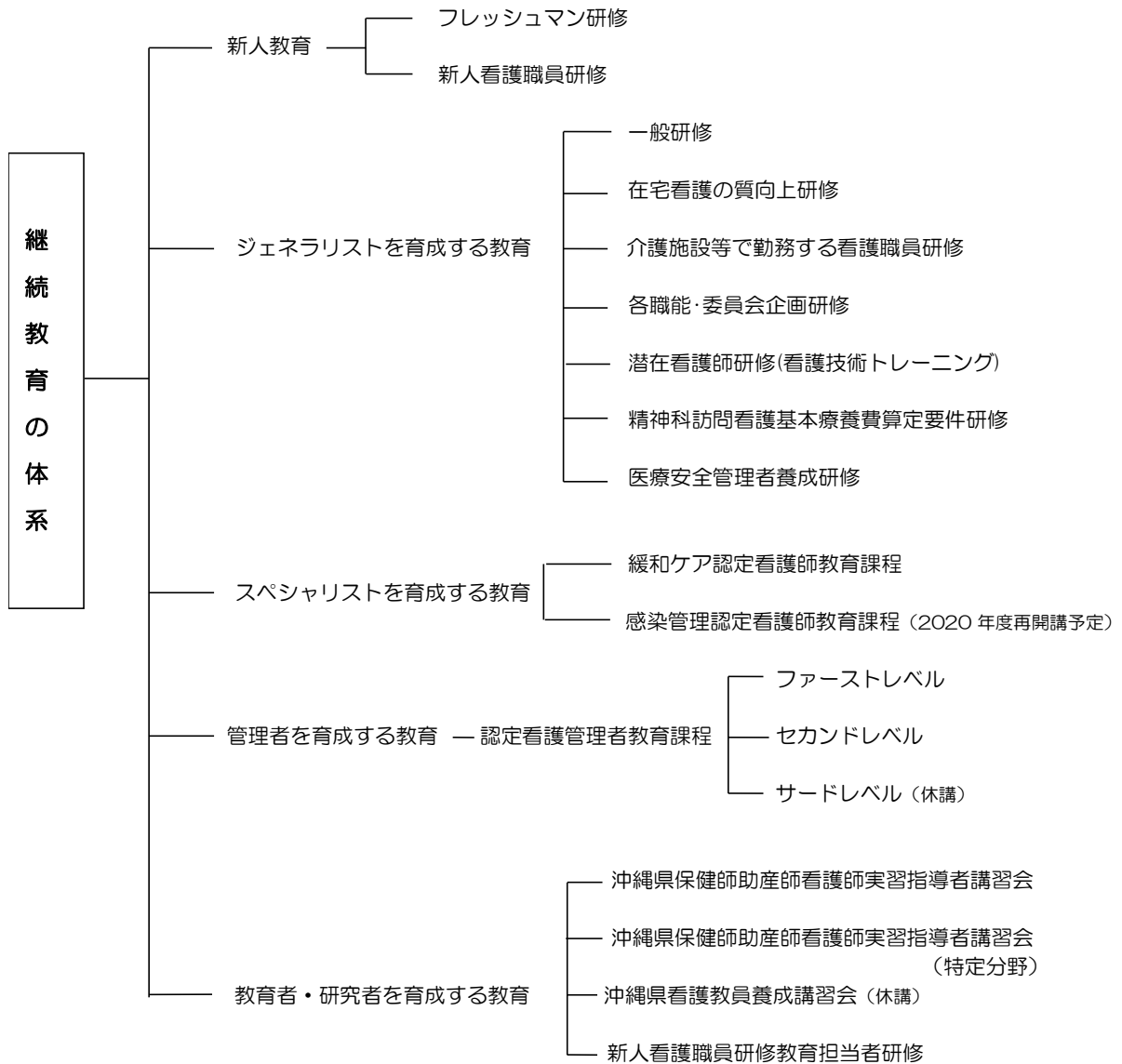


表1. 看護師キャリア開発ラダー

	看護実践能力	組織的役割遂行能力	自己教育・研究能力
I	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	責任のもっとも軽い、難易度の最も低い、軽微な組織役割を果たす。看護チームでは、フォロワーやチームメンバーの役割、部署の係としては簡単なルーチンの係の役割を遂行できる。	自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる
II	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	組織の一員としての役割が理解でき、部署の目標達成に向けて基準や手順を順守した行動がとれる。日々の看護業務においてリーダーシップがとれる	自己の学習課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる
III	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	所属する職場で、組織的役割が遂行できる。看護チームではチームリーダーやコーディネーターの役割、部署での係としては、創造的能力を要求される係の役割が遂行できる。	自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を果たすことができる
IV	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	所属する職場で、特殊なまたは、専門的な能力を必要とされる役割(学生指導、業務改善係、学習会係、教育委員、リスクマネジメント係など)を遂行できる。自部署の課題の明確化ができる	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる
V	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	所属を超え、組織や地域社会から求められる役割を遂行できる。自部署の課題に対し、具体的解決を図れる。	単独で専門領域や高度の看護技術等について自己教育活動を展開することができる。主となり研究活動を実践することができる。自部署における教育的役割ができる。